

東大・京大 (文系・理系)コース

主な合格校：東京大学／京都大学／一橋大学／東京工業大学／大阪大学など

少数精鋭による徹底指導。

壺溪塾の少数精鋭の伝統をもっとも受け継ぐ東大・京大コース。このコースにはクラス編成テストの結果により精鋭メンバーのみ在籍を許されます。カリキュラムは徹底的に記述の力を強化する編成になっています(※)。センター対策は1月になってから、というのが壺溪塾の東大・京大コース生の合言葉。しかし、毎年、センター試験の成績は、コース生平均点が900点満点で800点を超えることもあなど、全国の名門高校を上回る数値です。

※東大・一橋大英語、京大・阪大英語、東大・京大数学エンドレス、上級理系数学、論述地歴個別指導など

TOPICS トピックス

東大・京大コースのすごい実績を生み出すポイント

トップレベル講師による丁寧な指導。

このコースの特長は壺溪塾が誇るトップ講師による指導が受けられることです。たとえば東大・京大数学エンドレス講座ではトップ講師による答案チェックが受けられます。他にも理系は数学や理科で大学教養レベルの講座を受講、文系は論述地歴の個別指導を週に複数回受けられます。また、精鋭メンバーが教室に揃うので、緊張感ある雰囲気の中、切磋琢磨することができます。



中林 希耀太さんによる日本史添削指導

卒業生の声【文系】

こんなに伸びた!

大阪大学 不合格

京都大学 合格!



大塚 直人さん
(熊本高校出身)

入学校 京都大学(法)

現役時代より志望校を上げて私が進学できたのは、壺溪塾で学力を上げることが出来たからです。壺溪塾にはたくさんの魅力があります。まず、のびのびと学習できる点です。自主性を重んじる校風は、各人に見合った学習プランを立てやすくしてくれます。GW期間に学習プランを効果的に立てることが出来て、かつそれを完遂できる十分な自習時間があったことが合格につながったと感じます。次に、質の高い授業を受講できる点です。特に印象に残っている授業はエンドレス数学で

す。この講義はちゃんとやれば確実に成長できるもので、本番に成果を実感できました。ぜひ実際に受講してみてください。最後に、クラスの仲がいい点です。クラスで多くの友人ができたことで、互いに切磋琢磨できたと感じますし、予備校生活での心の持ちようも随分変わったように感じます。このような充実した環境は1年間を有意義なものにしてくれるはずですよ。皆様の合格をお祈りいたします。

こんなに伸びた!

京大合格最低点-27点

+65点



椎葉 健伸さん
(熊本高校出身)

入学校 京都大学(経済-経済経営)

私は壺溪塾で過ごした1年間で飛躍的に成績が伸びました。上野先生の数学の授業は、問題の「本質」を見抜く力を養うことができ、目からウロコの連続でした。東大京大数学エンドレスでは、試行錯誤して自分の力だけでどうにか問題を解ききる力、減点されない、論理の一貫した答案を作成する力が養われました。二次試験

前には、各科目の素晴らしい先生方に丁寧に添削指導して頂きました。また、壺溪塾には、ハイレベルな仲間がいて、一緒に息抜きしたり、高め合うことができ、勉強をストレスに感じることはありませんでした。1年間本当にありがとうございました。

卒業生の声【理系】

こんなに伸びた!

東大即応オープン模試

7位 / 第一志望者
4,268人中



松田 寛也さん
(玉名高校出身)

入学校 東京大学(理科一類)

壺溪塾の東大理系クラス、6組で一年間学んで良かった点は、一つ一つの授業のレベルが高かったことです。英語・数学のAdvancedクラスは6組に入らないと受けることができませんでした。基礎を見直しつつ、応用力を養える授業で合格に一歩ずつ近づけたと思います。また、同じ大学を目指す友人と競い合うことのできる環境に身を置けたことも幸せでした。刺激を受け、自らの

勉強のモチベーションの維持・向上に役立ちました。壺溪塾で学んだことは大学入試のみならず、大学入学後も役に立ちます。それは学問に対する向き合い方です。壺溪塾での一年間の浪人生活は、大学合格はもちろん、人間としても成長させてくれると思います。皆さん合格目指して頑張ってください。

こんなに伸びた!

2次試験の総得点 319

475/満点750



中林 希耀太さん
(熊本高校出身)

入学校 東京工業大学(第6類)

現役の時センター試験の足切り600点を本番で初めてギリで超え、二次試験はどの教科も合格点に満たしていないような超さんな感じで東工大に落ちました。そんな状態だったので、浪人してその中でも少し得意だった数学をめちゃくちゃ伸ばして受かろうと思ひ、壺溪での浪人を選びました。一番役立ったと思う講義は、上野先生の数学エンドレスです。与えられた1間か2間のプリントの問題を解いて、それを先生に提出して

やり直しだったら解き直してまた出す、先生からokがもらえるまでこれを繰り返し、終わらないと帰れないという地獄みたいな時間です。木曜の最後の時限にあって、一番体力を使う授業なので毎週木曜日が山場でした。木曜は英語長文の授業もあったし。壺溪での浪人生活は自由な時間も多く、友達もたくさん増えたので今考えると他の予備校の人より楽で楽しかったと思います。いい経験をさせてもらってありがとうございました。